



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
 コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画局次長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福

(氏名) 井上 良次
 (氏名) 市川 健治

TEL 092-852-6624

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,603	△23.5	△413	—	△324	—	△210	—
2020年3月期第2四半期	12,548	2.4	589	△2.4	674	△2.6	379	△16.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 156百万円 (43.9%) 2020年3月期第2四半期 108百万円 (△81.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△96.22	—
2020年3月期第2四半期	172.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	45,559	34,284	73.4
2020年3月期	45,721	34,328	73.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 33,462百万円 2020年3月期 33,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,490	△18.5	△80	—	70	△95.8	10	△99.1	4.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	2,240,000 株	2020年3月期	2,240,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	47,782 株	2020年3月期	47,782 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	2,192,218 株	2020年3月期2Q	2,192,244 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により消費マインドが引き続き低調に推移し、緊急事態宣言解除後に段階的に経済活動が引き上げられたものの、感染症拡大の懸念から景気は大きく停滞しました。

新型コロナウイルス感染症は当社グループの事業にも大きく影響を及ぼしております。主力事業である放送事業収入はスポンサー企業の広告出稿意欲の低下等により、テレビスポットの福岡地区投下量が前年を大きく下回ったこともあり大幅な減収となりました。また、その他事業収入も各種イベントの中止により大幅に前年を下回りました。また、システム関連事業収入は、消費税率変更及びPC買い替えの特需の反動により減収となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は96億3百万円（前年同期比 23.5%減）で減収となり、営業損失は4億13百万円（前年同期は営業利益5億89百万円）、経常損失は3億24百万円（前年同期は経常利益6億74百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億10百万円（前年同期は四半期純利益3億79百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①放送事業

放送事業は、収入60億12百万円（前年同期比 27.5%減）、営業損失4億23百万円（前年同期は営業利益4億81百万円）となりました。

テレビ部門は、収入50億61百万円（前年同期比 29.8%減）となりました。主力商品であるスポット収入は企業の出稿意欲が大きく落ち込み33.0%減となりました。通信販売業等で出稿が増えたスポンサーもありましたが、食品、輸送機器やその他サービス業等大部分の業種で落ち込みました。また、タイム収入も女子プロゴルフトーナメント「ほけんの窓ロレディース」の中止等により25.0%減となりました。

ラジオ部門は、収入9億51百万円（前年同期比 11.9%減）となりました。タイム収入は1.1%増とほぼ前年並みでしたが、制作収入はイベント等の中止により46.6%減、スポット収入も15.4%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入24億46百万円（前年同期比 14.0%減）、営業利益24百万円（前年同期比 74.0%減）となりました。

前年同期にあった消費税率改正に伴うソフトウェア開発やウインドウズ7のサポート終了によるPC等の買い替えの特需がなく減収となり、営業利益も減少しました。

③不動産事業

不動産事業は、収入5億9百万円（前年同期比 3.6%減）、営業利益5億17百万円（前年同期比 4.1%減）となりました。

テナント収入はほぼ前年並みでしたが、RKB駐車場収入の減少により減収減益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入6億35百万円（前年同期比 28.3%減）、営業損失1億8百万円（前年同期は営業損失77百万円）となりました。

催事部門では福岡市博物館で「PIXERのひみつ展」は開催できましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により「福岡音楽祭音恵2020」、「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」や「ミイラ 永遠の命を求めて」等の大型催事が中止となりました。その結果大幅な減収となり、利益面でも営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億61百万円減少し、455億59百万円となりました。これは主に、購入により有価証券が24億70百万円、時価の上昇により投資有価証券が5億95百万円増加したものの、有価証券購入等により現金及び預金が18億9百万円、回収等により受取手形及び売掛金が16億48百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ1億17百万円減少し、112億75百万円となりました。これは主に、購入によりリース債務(固定)が5億31百万円増加したものの、支払等により未払費用が4億53百万円、未払消費税等が2億1百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ44百万円減少し、342億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難でありましたため、これまで未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき算定した業績予想を公表いたします。

今後の見通しにつきましては、経済活動が徐々に再開され消費活動にも明るい兆しはあるものの、通期では中核事業である放送事業のテレビスポット収入が上期の売上減をカバーしきれず前年を下回る見込みです。また、その他事業収入につきましても、下期に入り各種イベントが開催される予定ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため人数制限を受けること等もあり前年を下回る見込みです。一方、経費面ではコストコントロールの更なる強化を行っております。このような状況下、下期以降の企業の広告出稿が緩やかに回復していくことを想定し、通期では売上高214億90百万円、営業損失80百万円、経常利益70百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円になる見込みです。

配当予想につきましては、厳しい経営環境ではありますが、株主の皆様への利益還元及び安定的な配当の継続という方針に鑑み、1株当たり年間75円とすることにいたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,595	8,785
受取手形及び売掛金	4,260	2,612
有価証券	30	2,500
たな卸資産	163	345
その他	2,446	1,807
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	17,495	16,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,111	5,982
機械装置及び運搬具（純額）	847	757
土地	13,517	13,517
その他（純額）	1,244	2,060
有形固定資産合計	21,721	22,318
無形固定資産	249	227
投資その他の資産		
投資有価証券	4,044	4,640
その他	2,214	2,325
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	6,255	6,964
固定資産合計	28,226	29,511
資産合計	45,721	45,559
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	348	262
未払法人税等	185	23
その他	3,432	3,065
流動負債合計	3,967	3,351
固定負債		
退職給付に係る負債	4,659	4,487
その他	2,767	3,436
固定負債合計	7,426	7,924
負債合計	11,393	11,275

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	32,627	32,219
自己株式	△184	△184
株主資本合計	33,008	32,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	575	922
退職給付に係る調整累計額	△73	△59
その他の包括利益累計額合計	501	862
非支配株主持分	818	821
純資産合計	34,328	34,284
負債純資産合計	45,721	45,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	12,548	9,603
売上原価	7,886	6,690
売上総利益	4,662	2,913
販売費及び一般管理費	4,072	3,326
営業利益又は営業損失(△)	589	△413
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	69	70
その他	15	17
営業外収益合計	86	89
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	2	1
営業外費用合計	2	1
経常利益又は経常損失(△)	674	△324
特別利益		
補助金収入	—	22
特別利益合計	—	22
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	4
ゴルフ会員権評価損	2	0
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	671	△307
法人税等	271	△102
四半期純利益又は四半期純損失(△)	399	△204
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	379	△210

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	399	△204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△302	347
退職給付に係る調整額	11	13
その他の包括利益合計	△290	361
四半期包括利益	108	156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90	149
非支配株主に係る四半期包括利益	18	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当社グループの特に放送事業及びその他事業において影響が生じております。

新型コロナウイルスの影響について、今後の広がり方や収束時期等について統一的な見解はなく、当社グループでは、新型コロナウイルスの広がりや収束時期等を正確に予測することが困難であり、当連結会計年度にわたって当該影響が継続するとの仮定を置き、四半期連結財務諸表作成時点で入手可能な情報に基づき、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、今後の経過によっては、これらの仮定及び見積りとは異なる可能性があり、当社グループの経営成績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結結果計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,290	2,843	528	885	12,548	—	12,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	42	426	703	1,235	△1,235	—
計	8,353	2,885	955	1,589	13,783	△1,235	12,548
セグメント利益又は損失(△)	481	94	539	△77	1,037	△447	589

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△447百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入105百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△553百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,012	2,446	509	635	9,603	—	9,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	36	425	637	1,144	△1,144	—
計	6,057	2,483	935	1,272	10,747	△1,144	9,603
セグメント利益又は損失(△)	△423	24	517	△108	10	△423	△413

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△423百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入94百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△519百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	7,252	80.8	5,083	78.5	△2,169	△29.9
ラジオ収入	1,101	12.3	973	15.0	△127	△11.6
その他の収入	618	6.9	423	6.5	△195	△31.6
合計	8,972	100.0	6,480	100.0	△2,491	△27.8